

みんなが主役！
ごみ減量



町田市からのお知らせ

ごみ資源化施設建設 NEWS

Vol.34

発行日：2023年8月1日
発行：町田市環境資源部
問合せ：循環型施設整備課
住所：町田市森野2-2-22
電話：042-724-4384

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

町田市資源循環型施設整備基本計画を改定いたしました

2013年4月、町田市の各家庭から排出されるごみの処理や再資源化の実現するために、「どのような施設をどこに整備するか」を明確にするため、町田市資源循環型施設整備基本計画(以下、「整備基本計画」という。)を策定しました。2021年3月、上位計画である「第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画」を改定したこと等を踏まえ、このたび整備基本計画の改定を行いました。今号では整備基本計画の主な改定内容についてご説明します。

1. 処理品目の変更

2022年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律(プラ新法)」に対応できるように、資源ごみ処理施設の取り扱い品目に製品プラスチック(硬質プラスチック)を追加しました。

2. 年間計画ごみ処理量の変更

近年実施したごみの組成調査結果や最近のごみ量の実績値から年間ごみ量を推定しなおしました。それにより、資源ごみ処理施設の計画年間ごみ処理量を下表のように変更しました。

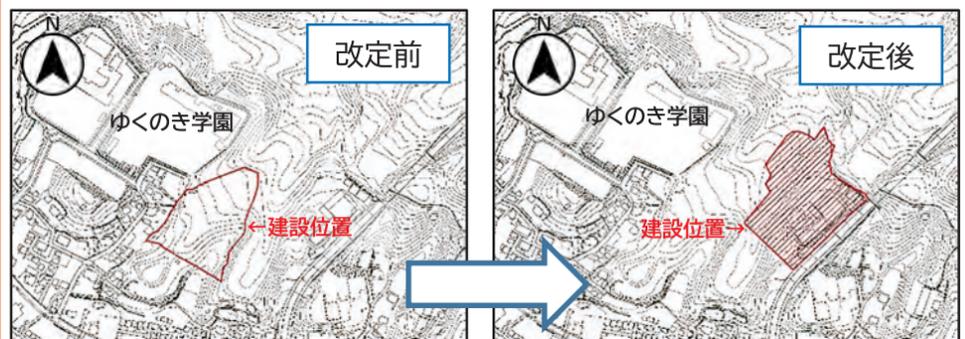
(単位:トン/年)

品目	改定前	改定後
容器包装プラスチック	5,600	4,800
製品プラスチック	—	960
ペットボトル	1,000	1,144
ビン類	3,300	2,774
カン類	1,200	1,048

選別保管する品目

有害ごみ、小型家電、紙パック、白色トレイ

3. 相原地区資源ごみ処理施設の計画位置の変更



相原地区資源ごみ処理施設計画位置の変更

効率的な搬出入経路の確保及び景観等への配慮として近隣の学校・住宅との間に緩衝機能を有する緑地を設けるため、当初の計画位置から東へ位置を変更しました。施設の建設と同時期に緑地も整備します。

4. 整備スケジュールの変更

近年の社会情勢、サプライチェーンの変化による影響を踏まえ、改めてプラントメーカーからの整備期間に関する意見提示をもとに検討を行いスケジュールの変更を行いました。

- ・相原地区資源ごみ処理施設
2028年度施設稼働予定 (改定前:2025年度施設稼働予定)
- ・上小山田地区資源ごみ処理施設
2037年度施設稼働予定 (改定前:2027年度施設稼働予定)



全体計画図

今後、改定した「整備基本計画」を踏まえ、資源ごみ処理施設の整備を進めてまいります。これから整備する相原地区、上小山田地区の資源ごみ処理施設は、ごみを燃やす焼却施設ではなく、集めた資源ごみを選別・圧縮・梱包等を行う中間処理施設です。

資源循環型整備基本計画に関する詳細はHPへ



資源循環型施設整備計画

検索

旧清掃工場の解体工事において土壌汚染調査を実施しました

町田市バイオエネルギーセンター(愛称名:バイエネ君)では、旧清掃工場の解体工事において、土壌汚染対策法及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づき、土壌汚染調査を実施いたしました。

調査を計画していた275地点について、全ての地点で調査を実施し、4地点で「鉛及びその化合物」が、3地点で「フッ素及びその化合物」が溶出量基準値を僅かに超過しました。

基準を超過した区画については、法や条例に基づき指定された区域の種類に応じて対策を実施します。



土壌汚染調査の様子

● 土壌汚染調査の結果

旧清掃工場の解体に伴い、土壌汚染対策法に基づく指定調査機関(環境大臣または都道府県知事に指定された調査機関)による調査を実施したところ、次のように溶出量基準値を超過いたしました。

- ・鉛及びその化合物基準超過 4地点
- ・フッ素及びその化合物基準超過 3地点

● 鉛及びその化合物の基準値超過詳細

・鉛及びその化合物の基準値は0.01mg/L以下(1リットル中に0.01ミリグラム以下)ですが、検出値の最大値は0.027mg/Lでした。

参考までに、ミネラルウォーターの成分規格値では0.05mg/L以下となっており、今回の検出値はミネラルウォーターの成分規格値より低い値でした。

● フッ素及びその化合物の基準値超過詳細

・フッ素及びその化合物の基準値は0.8mg/L以下(1リットル中に0.8ミリグラム以下)ですが、検出値の最大値は1.5mg/Lでした。

参考までに、海水中のフッ素濃度は1.3~1.5mg/Lとされ、それとほぼ同程度の値です。

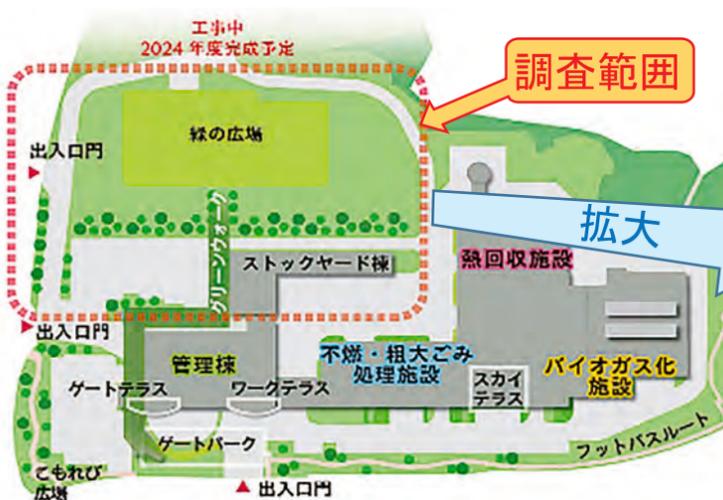
※検出されたフッ素及びその化合物はPFAS(有機フッ素化合物)ではありません。

町田市バイオエネルギーセンター整備工事全体スケジュール

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
設計	[Progress bar from 2016 to 2017]								
第1期工事	旧管理棟・旧花の家解体工事／造成工事								
第2期工事	新管理棟・工場棟建築工事／プラント工事								
第3期工事	旧工場棟解体工事								
第4期工事	ストックヤード棟等整備工事／外構工事								

基準値の超過が確認された区画の一部で、土の入替等の対策工事を実施します。
この対策工事のため全体の工事期間を3ヶ月延長いたします。

工事完了を
2024年6月末から9月末に延長(赤着色部分)します



町田市バイオエネルギーセンター土壌汚染調査範囲



土壌汚染調査地点と結果

■ 特定有害物調査地点 (275地点)

基準値超過地点

鉛及びその化合物

ア イ カ キ

フッ素及びその化合物

ウ エ オ

旧清掃工場の土壌汚染調査及びその対策工事に関する詳細はHPへ

町田市バイオエネルギーセンター 土壌汚染調査 検索



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。